

平成25年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上 場 会 社 名 株式会社ジーテクト 上場取引所 大
コ ー ド 番 号 5970 URL <http://www.g-tekt.jp/>
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 菊池 俊嗣
問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 （氏名） 木下 三五郎 （TEL） 048-646-3400
四半期報告書提出予定日 平成24年11月 7 日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年 3 月期第 2 四半期の連結業績（平成24年 4 月 1 日～平成24年 9 月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 3 月期第 2 四半期	77,015	42.5	6,772	380.5	6,572	977.7	4,341	△54.4
24年 3 月期第 2 四半期	54,045	91.9	1,409	△40.5	609	△75.0	9,514	601.1

（注）包括利益 25年 3 月期第 2 四半期 3,803百万円（△52.5％） 24年 3 月期第 2 四半期 8,006百万円（—％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 3 月期第 2 四半期	215.38	—
24年 3 月期第 2 四半期	502.52	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 3 月期第 2 四半期	128,668	69,893	49.0
24年 3 月期	129,944	60,879	41.6

（参考）自己資本 25年 3 月期第 2 四半期 63,095百万円 24年 3 月期 54,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 3 月期		13.00		15.00	28.00
25年 3 月期		16.00			
25年 3 月期（予想）				16.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年 3 月期の連結業績予想（平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	150,000	10.8	11,600	18.6	11,100	25.2	7,700	△43.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	21,965,630株	24年3月期	18,934,730株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	21,986株	24年3月期	21,910株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	20,158,879株	24年3月期2Q	18,934,585株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
(1)	四半期連結貸借対照表	6
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4)	継続企業の前提に関する注記	12
(5)	セグメント情報等	12
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7)	重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、国内の景気は個人消費が底堅く推移し、企業収益も緩やかに持ち直すなど、回復基調で推移いたしましたものの、海外経済の減速等により、先行き不透明な状況となりました。

海外については、米国では個人消費や設備投資の増加など、緩やかな回復傾向が続きましたが、中国、インドなどのアジア地域では、一部に景気拡大の鈍化傾向が見られました。欧州においては、総じて景気は足踏み状態で推移いたしました。

自動車業界につきましては、国内ではエコカー補助金効果等によりハイブリッド車など低燃費車を中心に生産、販売が回復してまいりました。海外におきましては、中国において内需の減速により、新車販売が鈍化傾向となりましたが、北米などにおいては、生産、販売が回復してまいりました。

このような状況のもと当社グループは、国内外において新型車に係る受注部品の量産立ち上げに注力するとともに、インドネシア及びメキシコの新会社稼働準備を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績については、東日本大震災の影響を受けた前年同期に比べ、日本、北米を中心に得意先の生産が回復したことなどにより、売上高は77,015百万円（前年同四半期比42.5%増）、営業利益は6,772百万円（前年同四半期比380.5%増）、経常利益は6,572百万円（前年同四半期比977.7%増）となりました。四半期純利益については、4,341百万円となりましたが、前年同四半期においては高尾金属工業株式会社との合併による負ののれん発生益が計上されたため、前年同四半期比は54.4%減となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本については、主要得意先の生産が回復基調で推移し、売上高は25,813百万円（前年同四半期比33.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,494百万円（前年同四半期比223.6%増）となりました。

② 北米

北米については、年初からの主要得意先の生産拡大が継続し、売上高27,539百万円（前年同四半期比79.9%増）、増量効果もあり、セグメント利益（営業利益）は1,005百万円（前年同四半期は451百万円のセグメント損失）となりました。

③ 欧州

欧州については、主要得意先の生産が回復基調で推移したものの、金型設備の販売は減少しました。売上高は4,084百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益（営業利益）は408百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

④ アジア

アジアについては、洪水被害の影響が残りましたものの、増産や金型設備等の販売があり、売上高は9,416百万円（前年同四半期比28.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,252百万円（前年同四半期比71.3%増）となりました。

⑤ 中国

中国については、主要得意先の生産が回復基調で推移し、売上高は12,726百万円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,275百万円（前年同四半期は98百万円のセグメント利益）となりました。

⑥ 南米

南米については、為替評価の影響はありましたものの、主要得意先の生産が回復基調で推移し、売上高は2,834百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益（営業利益）は270百万円（前年同四半期比149.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より1,275百万円減少し、128,668百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少、仕掛品、有形固定資産の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より10,289百万円減少し、58,775百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の減少などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より9,013百万円増加し、69,893百万円となりました。これは主に、平成24年7月17日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年7月27日を払込期日とする第三者割当による新株式発行による資本金及び資本準備金の増加などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より3,726百万円減少し、11,661百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、9,865百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が6,592百万円、有形固定資産等の減価償却費5,729百万円、法人税等の支払額△2,864百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、△9,245百万円となりました。これは主に、国内外の新規車種生産のための機械設備取得等、有形固定資産の取得による支出△7,849百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、△4,341百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額△6,943百万円、長期借入金の返済による支出△3,574百万円、株式発行による収入5,553百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、東日本大震災やタイの洪水の影響を受けた前年から得意先の生産の回復が見込まれるものの、下期において中国での得意先の生産調整に伴い、受注の減少を見込んだことなどにより、以下のとおり平成24年4月27日発表の予想数値を修正しております。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 154,000	百万円 12,500	百万円 12,000	百万円 8,000	円 銭 422.87
今回発表予想 (B)	150,000	11,600	11,100	7,700	365.82
増減額 (B-A)	△4,000	△900	△900	△300	—
増減率(%)	△2.6	△7.2	△7.5	△3.8	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	135,376	9,779	8,864	13,727	725.61

なお、配当につきましては、本日付で別途開示しております「剰余金の配当（中間）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、第2四半期の業績及び通期の業績動向を踏まえ、長期的な視点に立ち、株主の皆様のご支援にお応えするべく、中間配当につきましては、1株当たり1円増額し、1株当たり16円と決議いたしました。期末配当につきましては、従来の予想を修正し、1株当たり1円増額し、1株当たり16円とさせていただきます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、東日本大震災及び合併後に、国内の生産体制を見直し、部品相互補完のための生産ラインの共通化及び生産設備の汎用化施策を進めた結果、従来は、新機種立ち上り時に生産設備の稼動が高く、年数の経過とともに減少する傾向にありましたが、現在は、主要な顧客において、経済状況の変化に対応したグローバル展開や製品・部品の共有化が進んだことで、生産設備の稼動は、新機種立ち上り以降も概ね安定的となってきました。

この結果、従来の方法に比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ275百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,904	14,540
受取手形及び売掛金	17,200	18,093
製品	1,065	952
仕掛品	9,509	10,588
原材料	1,360	1,393
貯蔵品	351	398
その他	5,220	3,587
流動資産合計	51,612	49,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,622	26,581
機械装置及び運搬具（純額）	22,000	21,527
工具器具及び備品（純額）	6,407	8,240
土地	8,815	9,342
建設仮勘定	6,199	5,494
有形固定資産合計	70,044	71,186
無形固定資産	1,093	929
投資その他の資産		
投資有価証券	4,395	3,613
その他	2,797	3,384
投資その他の資産合計	7,193	6,997
固定資産合計	78,331	79,113
資産合計	129,944	128,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,780	11,432
短期借入金	23,825	16,902
1年内返済予定の長期借入金	6,453	5,996
未払金	5,139	5,112
未払法人税等	1,861	1,092
賞与引当金	917	1,306
その他	5,178	5,859
流動負債合計	56,157	47,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
長期借入金	9,906	7,771
退職給付引当金	1,086	1,156
その他	1,914	2,144
固定負債合計	12,907	11,072
負債合計	69,064	58,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,863	4,656
資本剰余金	20,865	23,657
利益剰余金	35,923	39,981
自己株式	△20	△20
株主資本合計	58,632	68,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	548
為替換算調整勘定	△5,538	△5,728
その他の包括利益累計額合計	△4,580	△5,179
少数株主持分	6,827	6,797
純資産合計	60,879	69,893
負債純資産合計	129,944	128,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	54,045	77,015
売上原価	48,796	65,759
売上総利益	5,248	11,256
販売費及び一般管理費	3,838	4,483
営業利益	1,409	6,772
営業外収益		
受取利息	77	132
受取配当金	33	38
その他	168	183
営業外収益合計	279	354
営業外費用		
支払利息	395	360
為替差損	672	124
その他	10	69
営業外費用合計	1,078	554
経常利益	609	6,572
特別利益		
固定資産売却益	7	47
負ののれん発生益	9,127	—
特別利益合計	9,134	47
特別損失		
固定資産売却損	2	9
固定資産除却損	24	14
ゴルフ会員権評価損	—	2
段階取得に係る差損	261	—
その他	1	—
特別損失合計	289	27
税金等調整前四半期純利益	9,455	6,592
法人税等	125	1,992
少数株主損益調整前四半期純利益	9,329	4,599
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△185	257
四半期純利益	9,514	4,341

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,329	4,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△479	△408
為替換算調整勘定	△844	△313
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△73
その他の包括利益合計	△1,323	△795
四半期包括利益	8,006	3,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,890	3,742
少数株主に係る四半期包括利益	115	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,455	6,592
減価償却費	5,678	5,729
負ののれん償却額	△9,127	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	108	68
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△46	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	96	393
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,075
受取利息及び受取配当金	△111	△170
支払利息	395	360
持分法による投資損益 (△は益)	—	△38
固定資産除売却損益 (△は益)	18	△23
段階取得に係る差損益 (△は益)	261	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,317	△973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,815	△1,136
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,530	△1,073
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	△337	△59
前受金の増減額 (△は減少)	308	1,774
未払金の増減額 (△は減少)	△426	670
その他	△1,344	823
小計	4,900	11,881
利息及び配当金の受取額	112	169
保険金の受取額	—	1,075
利息の支払額	△401	△396
法人税等の還付額	527	—
法人税等の支払額	△1,559	△2,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	9,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,990	△7,849
有形固定資産の売却による収入	19	72
無形固定資産の取得による支出	△21	△33
投資有価証券の取得による支出	△24	△26
その他	241	△1,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,775	△9,245

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,894	△6,943
長期借入れによる収入	496	1,023
長期借入金の返済による支出	△3,075	△3,574
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△31	△26
株式の発行による収入	—	5,553
配当金の支払額	△104	△283
少数株主への配当金の支払額	△56	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,123	△4,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,153	△3,726
現金及び現金同等物の期首残高	2,677	15,387
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,998	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,277	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,800	11,661

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	14,217	15,288	3,904	7,316	10,523	2,795	54,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,156	21	2	5	98	—	5,283
計	19,373	15,309	3,906	7,322	10,621	2,795	59,328
セグメント利益 又は損失(△)	770	△451	562	730	98	108	1,821

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,821
セグメント間取引消去等	△380
のれんの償却額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,409

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、平成23年4月1日を効力発生日とする高尾金属工業株式会社との合併により負ののれんを認識いたしました。

なお、負ののれん発生益の計上額は当第2四半期連結累計期間において9,127百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成23年4月1日付の高尾金属工業株式会社との合併に伴い組織構造を見直した結果、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「日本」、「北米」、「欧州」、「アジア」、「中国」、「南米」に変更いたしました。

5. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成23年4月1日付の高尾金属工業株式会社との合併により、前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の末日における報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その内容は、次のとおりであります。

日本	83,668百万円	(前連結会計年度末	41,367百万円)
北米	28,763百万円	(前連結会計年度末	3,284百万円)
欧州	9,961百万円		
アジア	15,922百万円		
中国	22,833百万円	(前連結会計年度末	17,156百万円)

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	20,646	27,526	4,082	9,406	12,518	2,834	77,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,167	13	1	10	208	-	5,400
計	25,813	27,539	4,084	9,416	12,726	2,834	82,416
セグメント利益	2,494	1,005	408	1,252	1,275	270	6,706

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,706
セグメント間取引消去等	35
のれんの償却額	31
四半期連結損益計算書の営業利益	6,772

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社及び一部の海外連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比較して、第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で204百万円、「北米」で70百万円それぞれ増加しております。

5. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年7月17日を払込期日とする公募増資及び平成24年7月27日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ2,792百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,656百万円、資本剰余金が23,657百万円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。